

木古内観光の思い出がリーフレットになるアプリ「キーコ紀行」

“Ki-ko Kiko”: An Application to Make a Leaflet from Memory of Kikonai Sightseeing



池田 俊輝
Toshiki Ikeda

岩見 建汰
Kenta Iwami

細川 椋太
Ryota Hosokawa

山川 拓也
Takuya Yamakawa

横山 翔栄
Shohei Yokoyama

製作背景

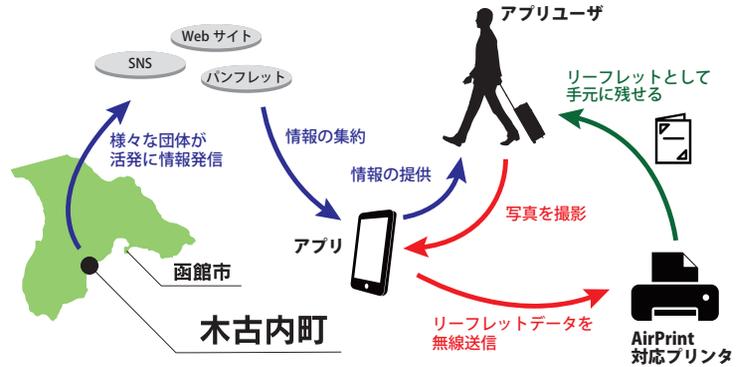
Background

木古内町の背景

- ・2016年3月に北海道新幹線が開業し、アクセス性が向上
- ・観光客の増加が見込まれているため、観光産業に力を入れている

観光者の背景

- ・スマートフォンが普及、情報がどこでも入手可能に
- ・写真もスマートフォンで撮影するが、見返す機会は少ない



キーコ紀行の概要

Overview of the "Ki-ko Kiko"

どこに行くかを「できること」から選べる!

マップと詳しい情報があるからスムーズに観光できる!

撮った写真がアルバムに!

友達に自慢しちゃおうかな~?

観光情報の提供
「できること」に着目した紹介

詳細情報の提供
観光スポットの情報をこの画面に集約

振り返りを支援
「撮った写真」と「場所の説明」のセット

印刷して振り返る
思い出を「リーフレット」という形で

プロジェクトの学び

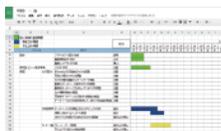
Learning

計画管理の必要性

開発計画の管理を行っていなかったため、それを再確認をする機会が多かった

- 例 「今誰が何やってるの?」「次はどの機能実装する?」
「優先度高い機能はどれ?」「この機能は実装するんだっけ?」

- ▶「何を作るか・優先度どの順か・誰が何をするか」これを継続的に管理・共有することの重要性を学んだ



開発開始時に作ったものの、1週間ほどしか使われなかった WBS

情報共有の必要性

グループ間の情報や問題の共有が十分にできていなかった

- 例 レビューを行った際
「その技術、こっちのグループで使ってるよ」
「その提案素晴らしい!」「ここは改善した方がよさそう」

- ▶もっとこまめにグループ間のレビューを行うべきだった



提案内容レビューの様子 (7月1日)

木古内観光の思い出がリーフレットになるアプリ「キーコ紀行」

"Ki-ko Kiko": An Application to Make a Leaflet from Memory of Kikonai Sightseeing



キーコ紀行の製作プロセス

Process to Develop the "Ki-ko Kiko"

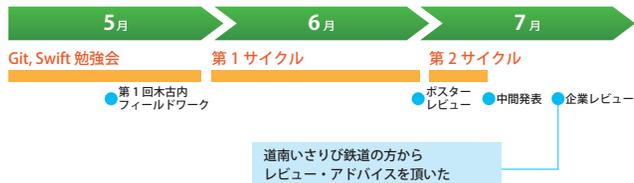
第1回木古内フィールドワーク

アプリ開発にあたって、木古内町の問題点や可能性を探索した

- ・観光客の目線で木古内を散策
- ・交通手段を自転車、自動車、電車で分担



前期スケジュール



第1サイクル

Plan 開発計画とコンセプト設計



Do 実装項目

- ・マップ機能
- ・ルート案内
- ・天気予報

マップ上の「ピン」をタップで情報を表示



Check 評価

中間発表用ポスターレビューにて
場所だけ並べたって
「行きたい」とはならないよね？

Act 改善へ向けた方針

場所よりも先に出すべきは
内容の話では？

第2サイクル

Plan



Do

- ・カテゴリ別観光情報
→「見る」「食べる」「買う」
- ・「フォトストーリー」
→スライドショー的な機能で友人と共有・おしゃべり



Check

中間発表会レビューにて
写真を撮るのが前提の機能なのに
モチベーションにつながらない

Act

写真を撮るという行為に
ワクワクするような価値を!

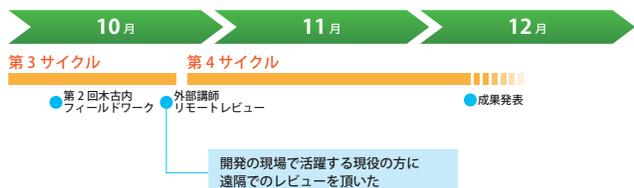
第2回木古内フィールドワーク

普通の観光情報にはないようなコンテンツを自分たちで探索していった

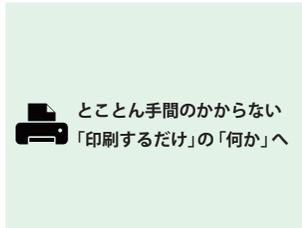
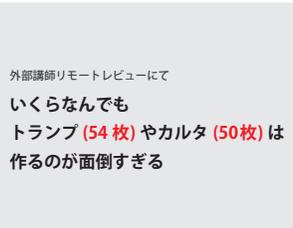
- ・アプリのコンテンツ収集
- ・隠れた名所の発掘



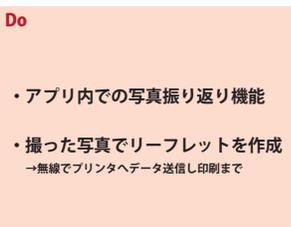
後期スケジュール



第3サイクル



第4サイクル



今後の展望

- ・評価とフィードバックを行う
- ・リリースへ向けた検討

